様式第２

１　心構え

 (1) 患者さんのために、明るく、進んで奉仕する気持ちを忘れないようにします。

 (2) 活動中、すべての患者さんに平等に接し、特に親しい人を作らないようにします。

２ 服 装

 (1) 清潔な動きやすい衣服を着用し、華美にならないように心がけ、活動中は名札を着用します。

 (2) 靴は音のしない活動しやすいものを使用するようにします。

 (3) アクセサリーは派手なものを避け、香水は使用しないようにします。

 (4) 爪は常に短く整え、特殊な色のマニキュアは避けるようにします。

３ 態 度

 (1) 穏やかで優しく、礼儀正しく落ち着いて接するように努めます。

 (2) 言葉は丁寧に、仕事は快く引き受けるようにします。

４ 活動するにあたって

　(1) 守ること

 ① 活動日にやむを得ず休む場合は、必ず活動部署の責任者に連絡をします。代理の必要な場合は、代理の方を頼むようにします。

 ② ボランティア活動記録に、活動月日、氏名、時間帯、活動内容等を記載します。

 ③ 活動部署の方針に従い、指示のとおり活動をします。

 ④ 活動中に見聞きしたことを、決して他へ漏らさないようにします。

　　　　（傾聴ボランティアについては、院内関係部署のみに留めます）

 ⑤ 患者さんから診療にかかる事柄について質問された時は、医療従事者に取り次ぐようにします。（傾聴ボランティアについては、傾聴後、医療従事者に相談、調整します）

 ⑥ 活動の前後に、手洗い、うがいを励行し、自分自身の健康に気をつけます。

 ⑦ 活動中に具合が悪くなったら、すぐ活動部署の責任者に連絡します。

 (2) 避けなければならないこと

 ① 職員の仕事や責任体制について理解し、患者さんや家族の方の前で批判しないようにします。

 ② 患者さんの病気に関することについては、尋ねないようにします。

　　③ 患者さんにカルテや記録を見せたり、ボランティアが読んだりしないようにします。

 ④ 患者さんの病状に対して、個人的な関心を持たないようにします。

 ⑤ 薬や物品、宗教などを患者さんに勧めたりしないようにします。

 ⑥ 患者さんやご家族の方に、贈り物をしたり、受け取ったりしないようにします。

 ⑦ ボランティアの仕事の上で、金銭的な負担をしないようにします。

 ⑧ センターの外で、患者さんやご家族の方と接触しないようにします。

 ⑨ 活動中、患者さんに自分の健康状況を訴えたり、薬をもらったりしないようにします。

　　⑩ ②～④について、傾聴ボランティアは業務上必要な事項に限り、認められておりますが、病院の方針に反することはいたしません。

（裏面に続く）

５ 感染症対策

　(1) 活動日ごとに下記に該当しないことを確認し、該当する際には活動を行いません。

 ① 新型コロナウイルスに感染した患者（疑われる人を含む）との接触（最終接触後10日以内）がある。

 ② 過去10日から現在までに、37.5℃以上の発熱がある。

 ③ 過去10日から現在までに、新たな呼吸器症状(せき・たん・息切れ鼻汁など)や喉の違和感、味覚・嗅覚異常、下痢症状がある。

 ④ 現在、同居する人に発熱・咳などの症状がある。

 ⑤ 過去20日以内に、同居する人が自宅待機を要請されている。

 (2) 活動部署が指示する感染症対策を徹底します。

 (3) 新型コロナウイルスに感染した場合又は濃厚接触者に認定された場合、速やかに活動部署の責任者に連絡します。

 (4) 保健所への連絡等、必要に応じて第三者に個人情報を提供することを承諾します。

６ その他

 (1) ボランティア保険に加入することを承諾します。

 (2) 毎回の交通費は自己負担します。

（令和５年10月１日改訂）

愛知県がんセンター病院長 殿

令和 年 月 日　　 氏名